

ございます 年頭にあたり

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、ロシアのウクライナ侵攻や32年ぶりとなる記録的な円安などの影響により、過去に類を見ない物価上昇に見舞われました。一方で、2月に開催された北京オリンピックでは、日本選手団の活躍が目立ち、冬のオリンピックで最多となる18個のメダルを獲得しました。また、新型コロナウイルス感染症により2年間開催を見送っていた国体が3年ぶりに本県で開催され、本町でもフェンシング競技が実施されるなど、スポーツ界では明るい話題の多い年でもありました。

そのような中において、本町では、近年、激甚化している自然災害から町民の皆様を守るため、防災・減災の取組を推進してまいりました。具体的には、普通河川である赤沢川、雀川の護岸整備工事、石田地区における田んぼダム整備など局地的豪雨や内水被害を軽減する事業を実施いたしました。また、自然災害による被災想定区域や避難場所・避難方法などを示したハザードマップを更新し、全世帯に配布いたしました。今後も、町民の皆様の安心・安全を守るため、引き続き防災・減災対策に取り組んでまいります。

そして、今年は将来にわたって活力のある上三川町を実現するため、待機児童を解消するための保育施設整備の推進、生後6か月児から小学校6年生までのインフルエンザ予防接種費用の一部助成、お子さんの医療費無償化の対象を現行の中学校3年生までから高校3年生までへの引き上げなどの施策を展開してまいります。また、カーボンニュートラルの実現に向けて、環境に優しいクリーンエネルギーを町民の皆様に積極的に活用していただくため、電気自動車や太陽光により発電した電気を蓄電し、住宅の電力として使用する定置型蓄電池システムの購入費について一部を助成いたします。さらには、ORIGAMIのまちを象徴する『人づくり・地域づくり』の拠点として、(仮称)生涯学習・子育て支援複合施設の整備を進め、生涯学習・子育て支援の充実を図ってまいります。

結びとなりますが、本年が町民の皆様にとりまして、希望に満ち溢れた年となりますことを心からご祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



上三川町長
星野 光利

あけましておめでとう



上三川町議会議長
高橋正昭

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、令和5年の新春を晴れやかに迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

年頭にあたり、町議会を代表しまして謹んで新年のご挨拶を申し上げます。また、日頃より議会活動に対し深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、いったんは収束の兆しを見せつつも、新型コロナウイルスが猛威を

振るい、社会経済活動に大きな打撃を受けた一年でありました。

本町議会におきましても、コロナ禍における議員活動の自粛や制限が余儀なくされる中、感染症対策を講じながら議会運営を行ってまいりました。議会定例会では、延べ31名の議員が一般質問に立ち、物価高騰対策など活発な論戦を展開してまいりました。また、視察研修においては、他市町と事業の取り組みを相互に勉強するなど、社会の変化にしっかりと対応しながら、我が町の発展、並びに課題を解決する役割を一層発揮していかねばならないと考えているところでございます。

議会としましても、今後も安心・安全な住みよい町を目指し、町民の皆様の多様な意見に耳を傾けながら、町政の適正な監視を続けるとともに、不断のない議会活動を進めてまいりますので、皆様のより一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、町民の皆様にとりまして、本年が幸多き一年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

